

令和8年第3回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
1(1番) 佐々木 忠孝	1 公園清掃業務の地元委託について	(1) 市が地元へ委託している清掃業務単価について、引き上げるべきではないか、市の見解を伺う。
2(7番) 坂口 勝彦	1 中小企業活性化、観光施策について	(1) 観光客受入環境と交通面の現状と課題は。 (2) 国の観光に関連した制度や補助金を活用すべきでは。 (3) 社会資本総合整備計画に観光活性化の取組を反映すべきでは。 (4) 観光施策推進に向け、庁内連携を強化すべきでは。 (5) (仮称)「中小企業・小規模事業者振興条例」の制定を行うべきでは。
3(17番) 西村 和子	1 市民図書館を市民全体の図書館へ	(1) 視覚障がいのある方々に、図書館利用についての情報をどのようにお伝えしているのか。 (2) 車椅子の利用について、市役所と同様に整備すべきと考えるが、見解は。 (3) バリアフリーサービスの現状は。 (4) 図書館のバリアフリー化やバリアフリーサービスを進める必要があると考えるが、市の見解は。
4(14番) 八尋 一男	1 自治会(行政区)の防犯灯電気代支払いについて	(1) 高齢化や生活様式の多様化で自治会加入率低下による、財政負担増加を、市は課題として認識しているか。 (2) 防犯灯は地域全体の安全に資する公共財と考えるが市の見解を伺う。 (3) 防犯灯は公共インフラと位置づけ、市が電気代を負担し、自治会は維持管理を担う分担へ見直す考えは。
	2 電子投開票システム導入について	(1) 無効投票率概ね2%前後で推移しており、この現状を市はどう認識しているか。 (2) 開票作業が翌日未明まで及ぶこともあり作業効率化・コスト削減の観点からもどう捉え、改善する意欲はあるか。 (3) 誤記をなくし無効票ゼロに、開票時間を大幅短縮する電子投開票システムを導入してはどうか。
5(2番) 古賀 新悟	1 賃金労働条件と学生支援について	(1) 市内企業で働く労働者の実質賃金引上げを地域経済の循環のためにも、国へ強力求めるべきでは。見解を伺う。 (2) 市職員及び会計年度任用職員の賃上げと一体に、1日7時間、週35時間勤務体制が必要。市の見解を伺う。 (3) 市独自として給付型奨学金の新設や生活困窮学生への相談・支援体制を強化すべきと考えるが市の見解を伺う。
6(6番) 檜木 孝一	1 認知症の人にもやさしいまちづくりについて	(1) 今後整備する市施設のトイレや手摺りは、認知症の人にもやさしいデザインとすべき。方針を問う。 (2) 次期介護保険事業計画に、今後建設の介護施設は前項のデザインを導入するよう勧めるべき。見解を問う。
	2 市民の健康づくりについて	(1) 本市のはり・きゅう費助成制度の目的と利用実績はどうなっているか。 (2) あん摩マッサージ指圧費を助成対象としていない理由は。今後、助成対象に加える考えはないか。

令和8年第3回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
7(3番) 春口 あかね	1 共同親権制度及び法定養育費制度施行後の子どもの生活保障とひとり親家庭支援について	(1) 共同親権制度施行後の相談内容の変化と本市の課題をどう認識しているか。 (2) 養育費確保支援事業の実効性及び事業効果の検証をすべきと考えるが見解を伺う。 (3) 養育費の継続受給に向けた支援の充実を図るべきと考えるが見解は。 (4) 法定養育費制度導入による子どもの生活保障への影響をどのように認識し、どのような支援が必要と考えるか。 (5) 共同親権制度下における子どもの利益を最優先とした支援体制の構築が必要と考えるが見解は。 (6) ひとり親家庭等日常生活支援事業及び学習支援事業を、確実に届けるための積極的な周知等を図るべきでは。 (7) 養育費、親子交流及びDV相談の初期段階でリスクを把握し、関係機関へ適切につなぐ体制が必要では。 (8) 子どもの貧困及び教育格差解消に向けた国への制度改善要望を行うべきと考えるが見解を伺う。
	2 物価高騰下における地域経済の好循環と将来への投資について	(1) 物価高騰の影響をどう把握し、経営基盤強化へどうつなげるか。 (2) 市内事業者の収益力向上や適正な価格転嫁を支援し、賃上げや地域所得の向上につなげる相談支援が必要では。 (3) 人材確保と事業承継で地域産業をどう把握し、地域産業を次世代へつなぐためどのような支援を行うのか。 (4) 公共投資で市民サービスと地域経済を両立させるべきと考えるが見解は。 (5) 観光・商工振興を地域資源と結び付けながら地域経済の好循環を生むことが重要と考えるが見解は。
8(12番) 前田 倫宏	1 ICT教育と不登校支援	(1) 電子黒板の必要性をどのように認識しているのか。また、ICT教育を充実させるため、計画的整備の考えは。 (2) 学校や適応指導教室等に通えていない児童生徒の支援をどのように考えているのか。また、具体的な取組は。 (3) 他自治体では、不登校児童生徒向けにオンライン配信等を活用した取組を進めているが、本市の状況と活用は。
	2 子育て支援	(1) 育児用品に関し、必要な家庭が利用できるリユース・レンタル事業を検討できないか。 (2) 育児用品に関し、譲りたい人と譲ってほしい人を社会福祉協議会等と連携し、譲り合い事業を検討できないか。
	3 観光振興	(1) 天拝山を大きな括りとし、御自作天満宮・二日市温泉・武蔵寺などの周辺資源を一体的に活用した具体策は。 (2) 菅原道真公ゆかりの歴史資源を、合格祈願、受験応援といった物語を発信し、観光振興に繋げられないか。 (3) 市内及び近隣高校と連携し、高校生のアイデアを観光振興に生かす仕組みを作る考えはないのか。
9(16番) 宮崎 吉弘	1 街路樹の適正管理と倒木対策について	(1) 本市における街路樹の点検方法及び頻度はどのように実施されているのか伺う。 (2) 老木化や病害虫被害など、倒木に繋がる危険性が高い樹木の状態は把握されているのか伺います。 (3) 人工知能(AI)の画像解析で倒木リスクを判定する技術など活用して早期発見が重要と考えるが見解は。
10(8番) 山本 加奈子	1 第二次筑紫野市都市計画マスタープランにおける二日市地域のまちづくりについて	(1) 二日市地域のまちづくりのテーマや方向性の実現に向け、今後10年でどのような成果を目指すのか。 (2) JR二日市駅や西鉄二日市駅周辺等の中心市街地の活性化イメージを形にするロードマップの策定は。 (3) 平成20年に策定されたバリアフリー基本構想との整合性が必要と考えるが見解は。
	2 予防医療と健康延伸について	(1) 高齢者肺炎球菌ワクチンは、令和8年度から20価結合型ワクチンへ変更されたが市の認識は。 (2) 66歳以上への市独自助成が令和8年度末で終了予定だが、助成期間の延長はできないか。 (3) HPVワクチンは15歳を迎える前に1回目を接種すれば2回で完了することを積極的に周知すべきでは。 (4) 男子HPVワクチンへの助成を実施している自治体もあるが市の見解は。

令和8年第3回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
11(9番) 吉村 陽一	1 教員の働き方改革について	(1) 各学校における教員の休憩時間はどの時間帯に設定されているのか。
		(2) 休憩の時間帯に職員会議や委員会などの業務は入っていないか。
		(3) 夏休み期間中に教員の休憩時間に関する一斉アンケートを行い現状の把握をすべきではないか。
12(10番) 段下 季一郎	1 不登校対策について	(1) 不登校対策として、幼保小の架け橋プログラム事業を充実すべきと考えるが市の見解は。
13(5番) 赤司 祥一	1 エアコン2027年問題について	(1) 経済産業省の省エネ基準が大きく引き上げられエアコン価格高騰が見込まれる2027年問題をどう捉えているか。
		(2) 公共施設におけるエアコン更新に影響はあるか。また、どのような計画になっているか。
		(3) 空調依存度の高い中小事業者への導入補助は。
		(4) 市民へのさらなる省エネエアコン購入助成は。
	1 新たなモビリティの検討について	(1) 過去本市において、グリーンスローモビリティのようなモビリティの導入検討は。
14(18番) 辻本 美恵子	1 地域共生社会の実現にむけて	(1) 中学校区単位を目標にしていた地域包括ケアシステムの現状と課題は、どのようなものか。
		(2) 介護保険制度改正が検討されているが内容について、どのようにとらえているか。
		(3) 現状の介護予防・生活支援総合事業の課題をどのように考えているか。
		(4) 地域で暮らしている中にある「制度の狭間」事象を、把握しているか。
	2 新しい自転車通行ルールへの対応	(1) 小学生、中学生に向けた安全教室の実施状況、啓発物品の配布はどの様に活用されたか把握しているか。
		(2) 成人、高齢者に向けた取り組みはどのようなものか。
		(3) 自転車通行の安全を確保するため講じた、対策の検討と改善の具体的な事例はあるか。
15(15番) 田中 允	1 小学一年生の黄色のランドセルカバーについて	(1) ランドセルカバーを小学一年生に配布していることについて、これまでの経緯と現状は。
	2 青少年のスポーツの振興について	(1) スポーツ団体の育成や学校部活動の活性化等について市の見解を。
	3 平井市長の過去3年間の実績について	(1) 選挙公約についてどの程度成果をあげられたのか自己採点をお願いしたい。
(2) 特に平井市長になって新規に取り組まれたこと、また、今やり残している課題等は。		
(3) 国県との連携の成果はあったのか。		